

新まんてんてらこや (第6回)

地震学や防災学について、最新の研究成果や役立つ話題をわかりやすくお伝えする講演会シリーズです。今回は、北海道の有珠山火山マイスターのメンバーをお招きし、阿武山サポーターとともに市民参加によるオープンサイエンス活動について話し合うシンポジウムを企画しました。

有珠山火山マイスターと阿武山サポーターの交流シンポジウム 「減災のための科学とコミュニケーション」

阿武山

阿武山観測所は、昭和5年の開設、関西における地震研究の拠点であった。近年は市民ボランティアにより様々なアウトリーチ活動を展開中。



有珠山は、北海道洞爺湖畔にある活火山。くり返す噴火から命を守るため一般市民による火山防災活動が展開されている。

有珠山

[日時] 2024年12月1日(日)13時00分～16時30分

[会場] 京都大学 阿武山観測所および オンライン (Zoomによる)

[申込] NPOのホームページから事前にお申込下さい

<https://www.npo-abuyama.org/>

[参加費] 一般500円 (当NPO法人会員は無料)

申込時にホームページ上でお支払い頂きます

[問合せ先] contact@npo-abuyama.org

共同主催: 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 矢守研究室

NPO法人 阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

協力: NPO法人 洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク

協後援: 高槻市

開催助成: 公益財団 法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団

新まんでんてらこや第6回

有珠山火山マイスターと阿武山サポーターの交流シンポジウム 「減災のための科学とコミュニケーション」

モデレーター：岡田夏美(京都大学防災研究所 特任助教)

プログラム：

第1部 個別報告：活動発表(各20分)

有珠山マイスター：「噴火する火山との共生をめざした洞爺湖有珠火山マイスターの活動」
阿武山サポーター：「地震科学を楽しみながら広める阿武山サポーターの防災活動」

第2部 パネルディスカッション① (60分)：

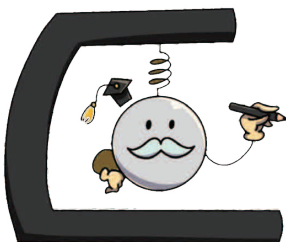
「科学への魅了—火山災害と地震観測の現場から—」
パネリスト：有珠山マイスター、阿武山サポーター

第3部 活動を支える専門家によるパネルディスカッション② (75分)：

「市民の現場に参加する研究者の立場から」
パネリスト：宇井忠英(北海道大学名誉教授)
飯尾能久(NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム理事長)
矢守克也(京都大学防災研究所教授)

洞爺湖有珠火山マイスター(北海道有珠山)と阿武山サポーター(阿武山地震観測所)は、火山や地震という具体的な事象や現象、実践を通じて、科学者と一緒に防災活動を展開してきました。マイスター・サポーターは、専門家ではない市民から構成されている団体です。マイスター・サポーターは、防災の実践のために、火山科学や地震科学、そして科学者とのようにふれ合っているのでしょうか？そうして得た学びは、地域の防災・減災とどのように結びついていくのでしょうか？「オープンサイエンス」「自然との共生」「学びと伝え」をキーワードに、科学と防災活動がつながる場所で活動することの楽しさや難しさ、やりがい、そしてこれからの展望などについて、ディスカッションします。

NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアムは、京都大学阿武山観測所がこれまで取り組んできた「地震サイエンスミュージアム」活動を、「オープンサイエンス」運動としてさらに発展させたいと考え、2021年4月に設立しました。当法人は、正会員、準会員、賛助会員を募集しています。どなたでもご入会いただくことが可能です。会員には、講演会の参加費が無料になるなど、様々な特典があります。詳しくはホームページをご覧ください。



特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム
所在地：〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 944

京都大学防災研究所阿武山観測所内



<https://npo-abuyama.org>